

英語運用能力 評価シート

資料5

学校	独自取組		外部検定試験					外部検定試験等評価基準	
	主な取組	取組概要	英語検定合格者(受験者)	TOEIC受験者 (最高スコア、平均スコア) 公開：990点満点 IP：990点満点 Bridge：180点満点	TOEFL受験者 (最高スコア、平均スコア) iBT：120点満点 ITP Level 1：677点満点 ITP Level 2：500点満点 Junior：900点満点 TOEFL iBT Complete Practice Test	TOEFL 合計人数 (iBT ITP,Junior,Complete Practice Test)  (ibt,Complete Practice Test上 位40名平均)	その他	AAA：TOEFL (iBT及びComplete Practice Test) 受験者40名以上でかつ上位40名平均点が80点以上 AA：TOEFL (iBT及びComplete Practice Test) 受験者 40名以上でかつ上位40名平均点が60点以上79点以下 A：TOEFL (iBT及びComplete Practice Test) 受験者 40名以上で上位40名平均点が40点以上59点以下 B：TOEFL (iBT ITP,Junior,Complete Practice Test) 受験者10名以上39名以下 C：上記の基準に達していない	
北野	①「授業を変える」取組の充実 ②「使える英語プロジェクト事業」への積極的参加 ③「学内留学講座」の実施	①1・2年生の授業で電子黒板を活用したり、オーラルの授業の一部でALTと独自教材の活用により授業をすべて英語で実施するなど、「授業を変える」取組が充実している。 ②Advanced ClassやTOEFL iBTチャレンジ支援事業など、「使える英語プロジェクト事業」による英語運用能力向上の機会をフルに活用した。 ③民間教育機関を活用した「学内留学講座」を4回実施し、52名の生徒が海外大学の一般教養の授業体験を行った。	1級1名 準1級2名 2級30名 準2級49名 (160名)	IP:22名 (最高665、平均458.2)	iBT Complete Practice Test 222名 (最高96平均23)	222人 (上位平均53)	-	A	
豊中	①リスニング講座 ②TOEFL講習 ③英国語学研修	①センター試験のリスニング対策を土曜日、長期休業中に、予備校のDVD講義を利用して行った。 ②TOEFL iBT対策を年間12回、主にリーディングとリスニングを中心に行った。 ③13日間、イギリスの語学学校の主催するインターナショナルプログラムに参加させた。	2級10名 準2級13名 (26名)	IP:3名 (最高590、平均415)	ITP (L1):19名 (最高520、平均444.2) iBT Complete Practice Test 36名 (最高70平均29)	55人 (上位平均29)	-	B	
茨木	①ディベートを取り入れた英語授業 ②海外修学旅行の取り組み ③大阪大学等留学生との交流 ④海外(主にアジア)の高校生との交流 ⑤「イメージプログラム」の実施 ⑥短期留学プログラムへの積極的参加 ⑦「使える英語プロジェクト」への参加	①保健の授業でのディベートの経験を土台にして、2年「英語表現」授業にて、「死刑の是非」等のテーマでディベートを実施。論理的・批判的思考力を鍛える。 ②マレーシアSMK (中等教育機関)訪問、文化交流及び、スポーツ交流を実施。マレーシア国際工科院学生と「原発について」等のテーマでディスカッションを実施。 ③大阪大学留学生70名(内20名はベトナムから)との交流をおこない、H26年ベトナム修学旅行につなげる。 ④韓国ウルサン高校より169名、マレーシア国際工科院より30名、タイ王国KMUTTより16名来校、文化交流・ディスカッション等を実施。 その他、短期留学生6名(YFU)の受け入れ。 ⑤イメージプログラム(英語漬けの2日間)を冬休みに実施。1年生は、75名参加、修学旅行のテーマを掘り下げ、日本を発信する鍛錬を行う。2年生は、41名参加、TOEFLの演習と、その問題をテーマにしたディベート試合を行う。 ⑥大阪グローバル塾米国留学2名、英国留学3名、GLHSアメリカ研修(ハーバード大学等)に2名参加。 ⑦「使える英語プロジェクト」Advanced Class への参加	2級15名 準2級21名 (44名)	公開1名(スコア540) IP 32名(最高755、平均437)	iBT:3名 (最高97、平均74) ITP (L1) 8名 (最高507、平均467.9) Junior 3名 (最高800、平均746.7)	14人 (上位平均74) ※iBT3名の平均	●IELTS 1(スコア7)	B	
大手前	①TOEFL講座 ②イングリッシュ・キャンプ	① TOEFL iBT 受験のための演習・講義(40名) 4日間16時間 外部人材(語学学校・ネイティブ)を活用 ② 英語漬け合宿(40名) 2泊3日 外部人材(大阪大学留学生)を活用	2級20名 準2級14名 (47名)	公開1(スコア785) IP4(最高630、平均415) Bridge1(スコア平均122)	ITP (L1) 1(スコア460) Junior3(最高730、平均713.3) iBT Complete Practice Test 120名 (最高46平均21)	121名 (上位平均31)	●IELTS 1(スコア6)	B	
四條畷	①英語コミュニケーション集中講座 ②TOEIC-Bridge団体受検 ③イングリッシュキャンプ ④英語コミュニケーション集中講座 ⑤如月杯(英語暗誦大会2月) ⑥オーストラリア研修	①1年学習合宿の際に外部機関にネイティブ講師の派遣を依頼し、自己紹介から意見の表明までを実習する。 ②2年生文理学科対象、普通科の生徒にも呼びかけ現時点での英語力を計る。 ③1、2年生を対象にレクリエーションも交えて、英語を使うことを主眼にした取組を行う。 ④オーストラリア研修に行く生徒対象に現地での生活に必要な英語を学ぶグループと、コミュニケーション能力を高めるグループに分けて講習を行う。 ⑤1年生対象で一定の長さの英文を暗誦する。クラス代表を決定し、最終審査を行う。 ⑥オーストラリアの高校生宅でホームステイし、屋はレギュラーの授業に入る。	-	Bridge200(最高点174、平均138)	TOEFL iBT Complete Practice Test 72名 (最高71平均17)	72人 (上位平均39)	-	B	
高津	①「英語コミュニケーション集中講座」の実施 ②英語外部検定試験の受験 ③SSH事業における英語での発表実施	①夏季休業期間中に、全生徒を4~8人の少人数グループに分け、1年生の日常の単語・フレーズ運用レベル、2年生の簡単な英語によるスピーチ・ディスカッションレベル、3年生の意見を正しく論理的に述べるレベルと、到達目標を定めて実施した。3月にも同様に実施し、ディベートを学習させるなどし、成果を上げた。 ②1年生全員と2年生希望者が実用英語技能検定を受験したとともに、1年生全員がGTECも受験するなどした結果、良い成績を収め、英語に対する学習意欲をさらに高めることができた。 ③SSH重点卒業生において、日韓の河川の生態系調査の結果について、韓国と日本において英語でディスカッションさせたとともに、英語で研究発表をさせた。	2級33名 準2級266名 (402名)	-	-	-	●GTEC 349 (最高749、平均520)	C	
天王寺	①TOEFLチャレンジ講習 ②使える英語プロジェクトAdvanced Class ③イングリッシュキャンプ ④海外研修4か所 ⑤野球部海外遠征	①3回分の過去の教材を数回に分けて講習 40名参加 ②ネイティブ講師によるコミュニケーション力向上を図る講習 前期16名 後期13名 参加 ③大阪大学の留学生20人と本校の外国人教師2人といっしょにさまざまな企画を実施 40名参加 ④ケンブリッジ大学8名/ハーバード大学マサチューセッツ工科大学2名/カリフォルニア大学 NASA等25名/オーストラリア・ア・ホーランドパーク高校5名参加 ⑤ボストン ヒンガム高校野球部との海外交流試合等 33名参加	2級8名 準2級11名 (21名)	公開7(最高560、平均437) IP17名(最高660、平均444)	iBT 1名(スコア70) ITP (L1) 1名(スコア443) Junior 2名(最高775、平均625) iBT Complete Practice Test 72名 (最高68平均23)	76名 (上位平均29)	-	B	
生野	①イングリッシュキャンプ ②オーストラリア語学研修 ③英会話チャレンジ講座	①1年生全員を対象に、7月第1週に集中講義形式で、生徒10名につきネイティブ教員がつき、英語によるディベートやキャリアプランプレゼンテーションを行った。 ②豪州ブリスベンで一泊ずつホームステイを行い、FCAC(フーザ-コ-スツァ-リカカッヅ)での英会話レッスン、現地校生徒との交流、エクスカージョンによる異文化理解を実施。 ③7月に実施したイングリッシュキャンプ(1年生全員対象)及び8月上旬の海外語学研修(1・2年生)の成果を踏まえ、1・2年生を対象にしたネイティブスピーカーによる英会話チャレンジ講座を開講し、英語力のさらなる向上と英語力を活用したコミュニケーション能力の向上並びに異文化理解・多文化共生等を図った。	2級80名 準2級255名 (678名)	-	-	-	-	C	
三国丘	①海外スタディツアーの充実 ②海外修学旅行の実施(現地高校との交流) ③「TOEFL講座」の実施 ④「TOEIC」の取組の充実 ⑤「English Communication Skills 講座」の実施 ⑥海外サイエンスツアー(台湾) ⑦海外スポーツ交流(韓国)	①1・2年生希望者対象のオーストラリアスタディツアーでは、60名の生徒がカンタベリーカレッジでの授業を受講し、クイーンズランド大学やグリフィス大学の生徒と交流した。 ②第2学年はクアムに修学旅行を実施し、現地オコド高校と半日交流を実施した。 ③希望者対象の「TOEFL講座」を実施し、TOEFL PBT、TOEFL Juniorを生徒は受験した。 ④TOEICに関しては授業においても取り組み、多数の生徒が受験した。 ⑤「English Communication Skills 講座」としてネイティブによる少人数講座を実施し、80名がオールイングリッシュで英語力を磨いた。 ⑥2年生7名がサイエンスツアーを実施し、台湾大学等での研修や成功高級中等等と課題研究交流を実施した。 ⑦サッカー部8名が韓国釜山 蔚山外国語学校との交流やサッカー試合でのスポーツ交流を実施。	-	IP160名 (最高825、平均474.2)	Junior 14名 (最高790、平均731.8) TOEFL iBT Complete Practice Test 30名 (最高43平均24)	44名 (上位平均24)	-	B	
岸和田	①インテンシブ英語研修 ②オーストラリア語学研修	①ネイティブの英語教員が少数(10人まで)に対し、聞く・話すを中心にレッスンをし、最後には各人それぞれが英語で決められたテーマでの内容を英語で発表する。 ②異国の豪州で、一人一家族と英語を話さなければならない環境のホームステイで過ごしながら、日中は語学研修を高校で行い、バティの手助けによって言葉、文化、習慣に慣れ親しむ約10日間の研修である。	2級22名 準2級33名 (80名)	-	iBT Complete Practice Test 66名 (最高66平均22)	66名 (上位平均30)	-	B	